



暑さもようやく一段落し、朝夕の風には秋の気配が感じられるようになりました。1日の中の気温差が大きくなるこの時期は、体調を崩しやすいときです。毎日の体調の変化にご注意ください。

熱性けいれんが起こったら？

子どもが高い熱を出し、突然けいれんが起これば、だれでもびっくりするでしょう。でも、日本の子どもの5～10%が熱性けいれんを起こすので、めずらしいことではありません。

熱性けいれんは熱の上がり際に多く、突然手足をガクガク震わせ、体をかたくつぱり、顔色が悪くなり、白目をむいて、意識がなくなります。

熱性けいれんを起こしても、再発するのは30%程度です。また、繰り返し熱性けいれんを起こしても、成長とともに治まるのがほとんどです。

●熱性けいれんを起こしやすい病気

突発性
発疹

ヘルパン
ギーナ

インフル
エンザ

※急激に熱が上がる病気によく見られます。

けいれんが起こったら……

① 横向きに寝かせる

けいれん中におう吐すことがあるため、顔を横向きにします。体が硬直しているときは、体ごと横向きに。



注意 やってはいけないこと

●口にものを入れる

けいれんで舌をかむことはありません。ものをかませたり、口に手を入れたりしてはいけません。

●体を揺り動かす

●大声で呼びかける
刺激しないように、静かに見守りましょう。

② 時間を見ながら、静かに見守る

けいれんが続く時間を測りながら、静かに見守りましょう。ほとんどの場合、5分以内に自然に止まります。



③ 子どもの様子によっては119番通報する

5分以内に治まり、いつもどおりの状態に戻る

かかりつけ医を受診しましょう

ここをCheck!

- けいれんがどこに起こっているか
- どんなけいれんか

けいれんの様子を見ておきましょう。手足がガクガクするのは左右両方か片方か、目はどちらを向いているか、けいれんはいつ分続いたか、などがわかると診断の参考になります。

5分以内に治まったが、意識が戻らない、まひが残る、けいれんを繰り返すなどの場合

→

けいれんが5分以上続く

119番通報する

けいれんの原因となる病気がある可能性があります。



8月の利用状況

- ・手足口病
- ・突発性発疹
- ・伝染性膿痂疹（とびひ）
- ・急性上気道炎
- ・気管支炎
- ・皮膚形成異常



《震度5以上の地震が起きた場合》

①すぐにお迎えの連絡をします。

※電話が繋がらない場合には、連絡を待たずにすみやかに迎えをお願いします。

②伝言ダイヤル『171』にて状況の確認をお願いします。

～病児・病後児保育所スマイル Q&A～

Q：お迎えに行く人が変わる場合は、どうすればいいですか？

A：お迎えに来られる方が変更される場合は、分かり次第連絡をいただくと助かります。また、お迎え時間についても大幅に変更がある場合にも連絡をいただきたいです。

Q：予約が確定してから入室までの間に、別の症状が出てきた場合は預かっていただけますか？

A：その場合には一度受診をお勧めします。受診後に再度、医師連絡票をアップロードし直していただく形になりますが、病状によって可否が異なります。まずは、スマイルに連絡をいただきご相談ください。

